

経営比較分析表（令和5年度決算）

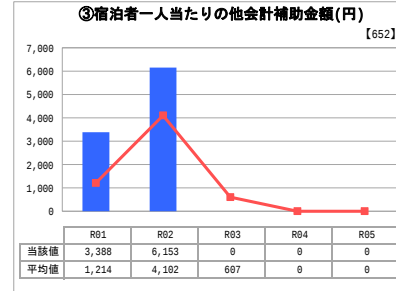
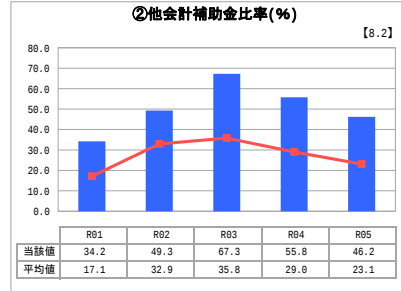
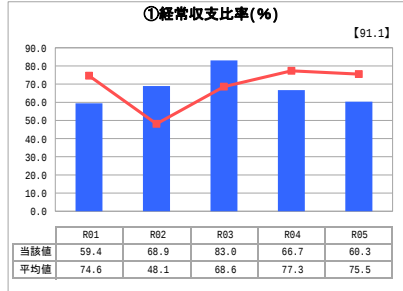
兵庫県たつの市 赤とんぼ荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
0.0	100.0	5,024	183	

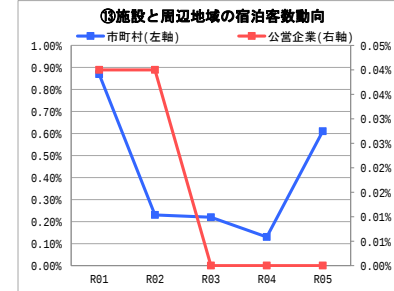
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
-	無	-
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	68.4	無

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



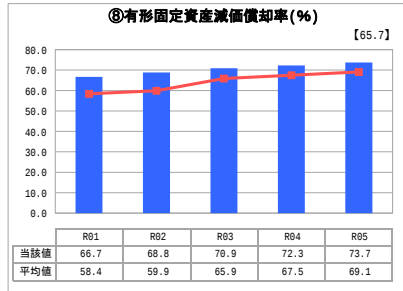
分析欄

1. 収益等の状況について
令和2年度末に宿泊・休憩業務を休止し、喫茶業務のみ営業している。
①（経常収支比率）経常収支比率が60.3%になっている。営業収益が大きく影響しているため、営業収益構造の検討が必要である。
②（他会計補助金比率）類似施設平均値と比較して高い水準であり、前年度と比較すると低くなっている。他会計への依存による経営構造からの転換が必要である。
③（宿泊者一人当たりの他会計補助金額）令和2年度末に宿泊・休憩業務を休止し、喫茶業務のみ営業しているため、令和3年度以降皆減。
④（定員稼働率）令和2年度末に宿泊・休憩業務を休止し、喫茶業務のみ営業しているため、令和3年度以降皆減。
⑤（売上高人件費比率）高い水準で推移してきた人件費比率であるが、令和3年度の経営形態が変わってからも高い比率となっている。施設のあり方について抜本的な検討が必要がある。
⑥（売上高GOP比率）令和5年度の経営形態が変わったことによりプラスで推移しているが、前年からは減少している。営業収益が大きく影響しており、本施設の収益構造の改善を進めなければならない。
⑦（EBITDA）経年比較において収益性の安定的な成長が見られない。引き続き経営改善に取り組む必要がある。

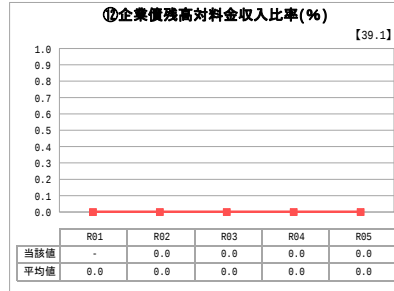
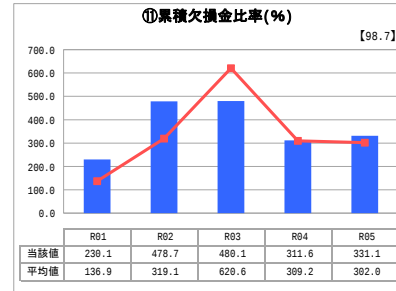
2. 資産等の状況について
⑧（有形固定資産減価償却率）類似施設平均値と比較して数値が高くなっており老朽化が進んでいる。施設のあり方について検討するうえで参考にしたい。
⑨（施設の資産価値）今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。
⑩（累積欠損金比率）累積欠損金の解消に向け、さらなる経営改善が必要である。
⑪（企業債残高対料金収入比率）企業債の数値計上はない。更新投資などを含め、今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

3. 利用の状況について
⑬（施設と周辺地域の宿泊客数動向）周辺地域の宿泊需要は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少したものの、回復している。経営形態が変わったことにより、集客対象も変わっているが、今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

2. 資産等の状況



⑨施設の資産価値(千円)
364,119
⑩設備投資見込額(千円)
0



全体総括

指定管理者による運営を行ってきた本施設であるが、令和2年度末に指定管理期間が満了して以降、休憩・宿泊業務を休止している。今後、施設のあり方について抜本的な検討を行っているところである。